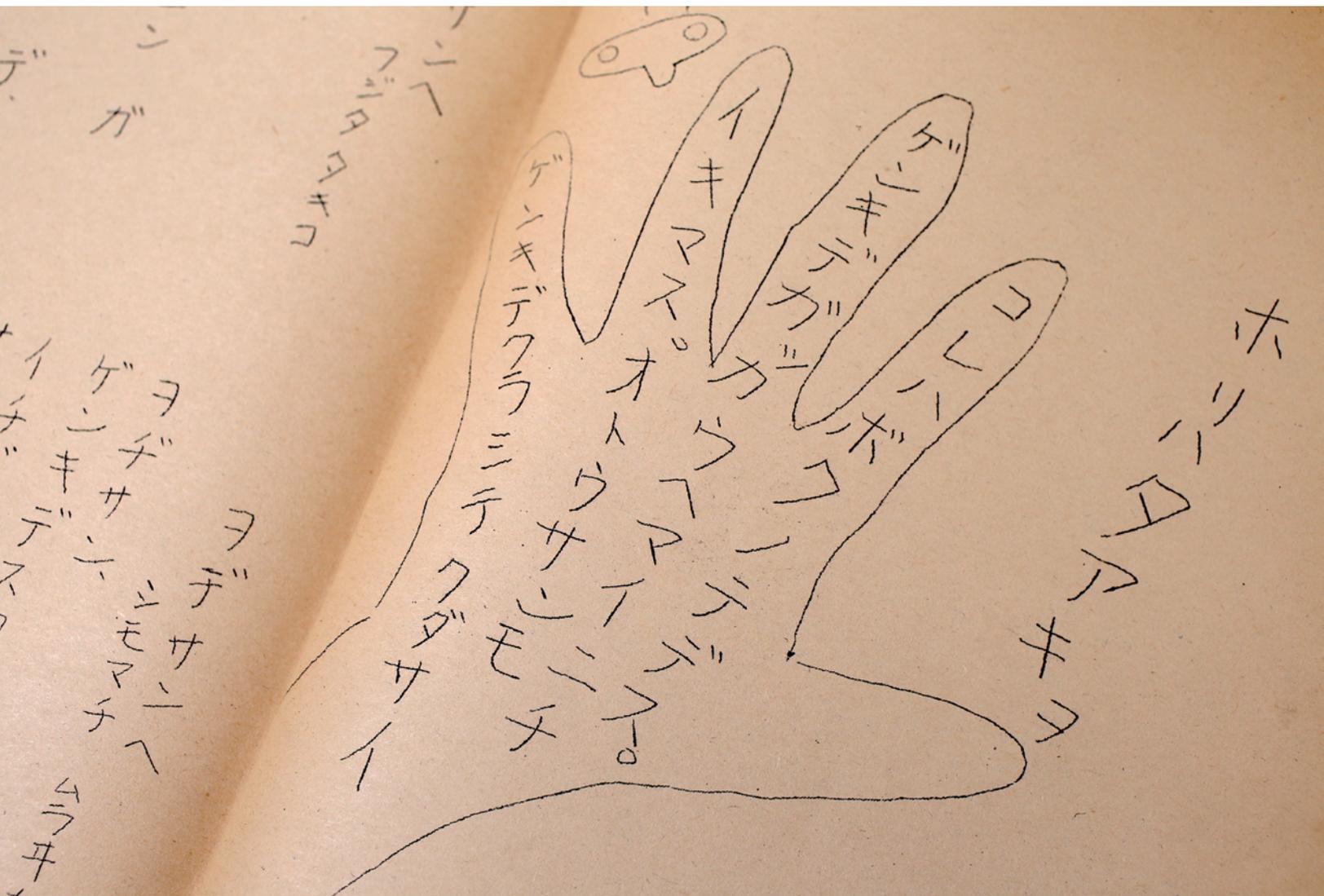


『慰問文集』再々発行プロジェクト・中間報告会

いもんぶん

慰問文は語る

子どもたちが綴った、戦争と平和



“兵隊さん”が戦場に散る前に読んだのは、

ふるさと

岐阜から届いた36篇の慰問文でした。

あなたは「慰問文」を知っていますか？

昭和14年、日中戦争真っ只中の夏——。

岐阜県加茂郡伊深村の子どもたちは、中国に出征中の父や兄に宛てて慰問文を綴りました【発行】。

昭和54年、慰問文の発行から40年後の夏——。

「伊深親子文庫」に集う母親たちは、遺族から託されたその文集を一文字ずつ鉄筆でなぞり、村中に配布しました【再発行】。

令和元年、慰問文の再発行から40年後の夏——。

私たち『慰問文集』再々発行プロジェクトは、80年前、40年前の出来事をたどり始め、来夏をめざして書籍（記念誌）を刊行します【再々発行】。

今回の中間報告会では、これまでの取材の進捗を映像や写真を交えてお伝えします。

『慰問文集』再々発行プロジェクトは、NPO法人記録と表現とメディアのための組織[remo]を母体とした、AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ] による取り組みです。AHA! は2005年より大阪で始動し、8ミリフィルム、写真、手紙といった“市井の人びとの記録”の潜在的な価値に着目した、草の根のアーカイブづくりを行っています。

慰問文とは、戦場の兵士を励ますために国内の人々によって書かれた手紙のことです。

10/28 [月]
18:00-20:00

土川商店 (池田町宮地 930)
申込先：0585-45-2120

10/29 [火]
18:30-20:00

IAMAS ワークショップ²⁴ R.Café (大垣市今宿 6-52-18-5F)
申込不要
本イベントは、〈「アーカイブ」を書き換える〉と題して実施します。
主催：これからの創造のためのプラットフォーム

10/30 [水]
13:00-14:30
19:00-20:30

旧伊深村役場庁舎 (美濃加茂市伊深町 895)
申込先：0574-29-3011
本イベントは、〈昼の部〉と〈夜の部〉の二回開催です。

10/31 [木]
19:00-20:30

ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ (岐阜市司町 40-5)
申込不要

4会場
すべて参加費
無料

お問い合わせ | aha.archive.2005@gmail.com 06-6686-5757 (松本・水野)

▶『慰問文集』再々発行プロジェクトの詳細は、右記のQRコードからアクセスの上、ご覧ください。

